

表彰一覧(過去3年分記載)

市立函館病院 中央検査部では様々な領域の認定資格を取得し、 関連学会の学術賞も多数受賞しています。 さらに新聞社や雑誌などのメディア取材も受けています。



上:検体検査部門

(細胞検査士・認定血液検査技師・NST 専門療法士・二級臨床検査士・一級遺伝子分析科学認定士・認定認知症領域検査技師・認定病理検査技師など)



上:輸血・細胞治療センター(認定輸血検査技師・細胞治療認定管理師)





上2枚:生理検査部門(超音波検査士・認定心電検査技師・血管診療技師など)

topics

難関資格の遺伝子分析科学認定士

誤判定が起こる場合もあるPCR検査は他の所見も考慮

市立函館病院中央検査部臨床検査科 遺伝子細胞生物検査センター主任技師

小笠原 愛美

の実施方法と結果の解釈には高い精度 果は診断的価値が高いことから、検査 いる。遺伝子検査によって得られた結 定診断や予後診断に幅広く利用されて 求められている。 日常診察において遺伝子検査は、 遺伝子分析科学認

病院の2人に次いで3人目だ。 者は全国で31人、 わる難関資格の遺伝子分析科学認定士 遺伝子分析科学や遺伝子関連検査に関 級に合格した。これまでの1級合格 遺伝子細胞生物検査センター 主任技師の小笠原愛美さんが 兩館病院(森下清文院長) 道内では北海道大学

は昨年1級に挑戦。 試験は多肢選択形 合格通知が届いた時は嬉しさで声が出 ない」と半ば諦めていたが、7月に 既に初級に合格している小笠原さん 「動画を用いた実技の問 跸

出題された。 題や苦手な英語に苦暖したことで、 012年から実施されてきた。 007年に第1回の初級試験が実施さ 行うために設けられた制度である。

間が足りなくて合格ラインには達して 式の筆記問題、実技試験、英文和訳が

定士制度は、このような遺伝子検査を

2020年2月から新型コロ

ナウ

鋼を積んだ後に取得する1級試験が2 初級合格者がさらに5年以上の研 2

クリーンベンチ内で PCRの検査中

PCR検査で一度に多くの検体

を調べることができる検査機器 (Cobas z480)について説明を

する小笠原愛美さん

医療」に生かしていきたいと独負を語 を行うことが必要です」。 と。そして疑わしい反応の時は再検査 の所見も考慮して結果の解釈を行うこ の誤判定が起こる場合があります。 する。「さまざまな要因によって結果 験で得た知識や技術を するのは危険だと小笠原さんは強調 PCR検査は検査結果だけを総呑み 「がんゲノム 今後は資格 他

20年2月から2021年9月まで3 療機関は珍しい。同センターでは20 ものPCR検査機器を導入している医

件以上の検査を行ってきた。

調べる機器など、検査の要望等に応じ

て使い分けています」。 道内で4種類

な機器や一度に複数の検体 (96件)を

行っています。15分の迅速診断が可能 置や核酸抽出装置などを導入し対応を に対応するために新たな遺伝子解析装 した。24時間365日PCR検査依頼 イルスPCR検査を院内にて開始しま された。 を導入するため、2004年度に新設 ることが難しかった専門性の高い検査 査など、これまで一般の病院で実施す え、細胞表面マーカー検査、遺伝子検 物検査センターは従来の臨床検査に加 したが、その努力が報われました」 を寝かせてから試験勉強を続けてきま たほどだったと話す。 小笠原さんが所属する遺伝子細胞生 一3歳の子ども



齋藤泰智さんとフローサイトメーター (日本ベクトンディッキンソン社の BD FacsLyric)

いて、

細胞を観察し細胞ごとの複

定法で、光や光センサーなどを用測定する統計的精度の高い細胞測

数の測定情報から相関解析と統計

市立函館病院は最新のフローサイトメーターを導入

白血病や悪性リンパ腫など

血液疾患の早期診断・治療に活用

フローサイトメーターの主な用途解析を行う検査機器」と説明する。

ている。 帯血移植病院として、骨髄や末梢 道南唯一の非血縁者問骨髄・さい を受けた。北海道内では6番目、 さい帯血移植実施施設、また日本 さい帯血パンクネットワークより 液・リンパ節などの組織)を用 び非血縁者間骨髄採取施設の認定 より非血縁者間骨髄移植実施設及 液疾患の患者の検体(血液・骨髄 は白血病や悪性リンパ腫などの血 幹細胞移植医療の発展に寄与して 骨髄移植推進財団(骨髄パンク) た細胞表面抗原の解析に活用され 幹細胞移植、ミニ移植等の造血 血液内科のある同病院は、 Ü

市立函館病院(森下清文院長)市立函館病院(森下清文院長)の中央検査部遺伝子検査の他に「フローサイトメーター」を導入し、ローサイトメーター」を導入し、ローサイトメーター」を導入し、ローサイトメーター」を導入し、コンター主査の實施泰智さんはフローサイトメーターを「数秒から数分という短時間で数千個かから数百万個の細胞を1個ずつ定量

北海道新聞 取材記事





北海道医療新聞 取材記事







遺伝子分析科学認定士1級を取得



函病 臨床検査技師、小笠原さん

道南で初

術を持ったエキスパートと 験資格が得られる1級は特 度で、初級取得後5年で受 (東京)が認定する資格制 を得た今年に 一般挑戦を決は、日本臨床検査同学院 アップしたい」と受験資格 遺伝子分析科学認定士 ており、自分自身もレベル

かわる専門知識や高度な技後、育児や家事がひと段落

した。 道内では3人目、 子分析科学認定士1級の試験に合格し、資格を取得 検査技師、小笠原愛美さん(32)がこのほど、遺伝 市立函館病院遺伝子細胞生物検査センターの臨床

7月下旬に合格通知が届

遺伝子認定士1級に合格 🖽



8月19日(本)



中河さん認知症



検査技師2人

市立函病

4л4п(л)

早期治療に成果



2021年(令和3年) 10月7日(木)

同主査は「血液疾患微小残

解析結果、精度高く迅速

を解析する処理能力があ 析)仕様の新装置は1度の

市立函館網院の中央検査部遺伝子細胞 生物検査センターは、細胞を解析する検 査装置「フローサイトメーター」の新型を 導入し、自血病やリンパ浮膿など血液疾 患の早期診断・治療に成果を挙げている。

難関資格取得

液

さらに知識高める努力を

関連学会表彰(過去3年分記載)

・令和3年度

第 46 回日本超音波検査学会学術集会

フォトコンテスト 優秀賞 生理検査センター 平方 奈津子

表彰状 市立函館病院 中央検査部 平方 奈津子 殿 貴殿は厳正なる審査の結果 第46回 日本超音波検査学会学術集会 フォ トコンテストにおいて優秀賞に選出 されました その栄誉を称え今後の更なるご努力 と益々のご活躍を祈念しここに表彰 いたします 令和3年6月1日 第 46 回日本超音波検査学会学術集会 大会長 川 地

市立函館病院 学術表彰 (過去 3 年分記載)

市立函館病院では平成23年度から

当院職員(医師・コメディカル込み)が行った学会発表や投稿論文のなかで 優秀なものについて表彰する制度を設けました。

※平成30年度からの規定

論文:①英語論文を最優秀

演題発表:①上級演題 ②対象とした患者数が多い ③研究手法に手間がかかっている

・令和元年度

奨励論文賞

遺伝子細胞生物検査センター 齋藤 泰智

演題名「HPC モードを用いた造血器前駆細胞および造血器腫瘍細胞検出の検証」 雑誌名:日本検査血液学会雑誌 第20巻2号

特別論文賞

遺伝子細胞生物検査センター 作田 泰宏

演題名「多項目自動血球分析装置 XN-9000 を用いた hsA モードの基礎的検討」 雑誌名:函館医学誌 第 43 巻 1 号

優秀演題賞(国際・全国)

生理検査センター 平方 奈津子

演題名「ISO15189 取得に向けた取り組み~市中病院の立場から~」

日本超音波医学会 第92回学術集会